

エコ・ファーストの約束

ユニーは、環境への取り組みの業界のトップランナーとして2008年に環境大臣と「エコ・ファーストの約束」を交わしました。さらに2010年には、エコ・ファースト制度の改定により、新たな約束を更新しました。東日本大震災以降、努力から義務となった持続可能な社会構築への取り組みを、企業活動を通して進めています。

エコ・ファーストの約束を更新

2008年に始まったエコ・ファースト制度が2010年に改定され、ユニーも2012年3月24日にエコ・ファーストの約束の更新を行いました。

当初は京都議定書の目標達成に向けた地球温暖化防止対策や循環型社会への取り組みなど、業界のトップランナー企業が自ら環境保全に関する取り組みを環境大臣に約束する制度でした。改定により環境省が掲げた7項目のうち3項目を選んで新たな「エコ・ファーストの約束」を環境大臣と交わしたのです。



細野環境大臣（左）と前村社長

エコ・ファースト推進協議会

環境省から認定を受けたエコ・ファースト企業が集まり、さらなる持続可能な社会実現を目指して2009年にエコ・ファースト推進協議会が発足しました。協議会は、次世代を担う子供達に、環境に対して関心を高めてもらうために、「エコとわざコンクール」を2010年から開催しています。

エコ・ファースト推進協議会では、業界を超えて情報交換や企業同士の協働を企業活動に活かす活動や環境保全を目指した啓発活動を行っています。ユニーは、エコ・ファースト企業とのコラボレーション企画を麒麟ビール、ライオンと実現しています。



エコ・ファースト推進協議会総会（幹事企業）



エコとわざコンクール表彰式
(エコプロダクツ会場)

エコ・ファーストの約束の進捗状況

1 食品リサイクルを 適正かつ積極的に 推進します	● 食品廃棄物発生抑制の取り組み (食品売上高1万円あたりの発生量を2012年度までに2007年度と比べ10%削減)	▶ 21.2%削減	p25 参照
	● 食品循環資源のリサイクルの取り組み (再生利用等実施率を2012年度までに60%達成)	▶ 54.2% (食品リサイクル法定報告数値は64.1%)	p25 参照
	● 食品循環資源を活用した食品リサイクルループを全県に拡大 (地域循環を目指し、各地域での食品リサイクルループの構築を図る) ※福島県は震災などの影響で除外	▶ 愛知・神奈川・三重・千葉・京都・ 奈良・滋賀・岐阜で認定済／ 富山・福井・新潟・長野で申請中	p29 参照
	● 環境学習・農業体験を全店舗で実施 (循環型社会について学び持続可能な社会を目指す)	▶ ●エコロお店探検隊／101回 ●農業体験／4回	p14参照 p30参照
2 その他循環型社会の 形成に向けた取組を お客様と一緒に 積極的に推進します	● 容器包装廃棄物の発生抑制 (レジ袋辞退率を2012年までに75%達成)	▶ レジ袋辞退率74.1% ・有料化店舗88.3% ・非有料化店舗23.4%	p19 参照
	● 使用済み容器包装の店頭回収とリサイクル推進 (回収量・種類・取り扱い店舗の拡大を図る)	▶ リサイクルボックス回収実績 14.3%向上 (2008年度比)	p21 参照
	● 商品搬入時の段ボールを削減し省資源を推進 (商品搬入時の段ボールを通い箱・クレートに替え使用量を削減する)	▶ 11.7%削減 (2008年度比)	p18 参照
3 地球温暖化の 防止に向けた取組を 積極的に推進します	● 地球温暖化防止を目指したライフスタイルの提供 (消費者を含む第三者審査委員会の審査に通った環境配慮商品を「ecolon」ブランドとして販売)		p33 参照
	● 省エネ活動の推進 (改善活動の一環で省エネ省資源活動を全店舗で実践)		p36 参照
	● 「エコストア」を建設し省エネを推進してCO ₂ の発生抑制を図る (ピアゴ蟹江店を最新の環境設備を導入したエコストアのパイロット店舗として開店、省エネ効果を評価して今後の店舗施設改善へのモデルにした)		p41 参照